


🔍

- MSDN ライブラリ
- ↑ .NET 開発
- ↑ .NET Framework 4.5
- ↑ .NET Framework クラス ライブラリ
- ↑ System.Drawing 名前空間
- ↑ System.Drawing
 - Image クラス**
 - Image メソッド
 - Image プロパティ

コミュニティ コンテンツ



コード サンプルとヒントを追加してこのトピックの内容を向上させます。

その他...

この記事は機械翻訳されたものです。記事の文章にポインターを重ねると、原文のテキストが表示されます。 [詳細情報](#)

訳文

原文

Image クラス



.NET Framework 4.5 | [その他のバージョン](#)

このトピックはまだ評価されていません - [このトピックを評価する](#)

子孫クラスである Bitmap および Metafile に機能を提供する抽象基本クラス。

継承階層

System.Object
System.MarshalByRefObject
System.Drawing.Image
System.Drawing.Bitmap
System.Drawing.Imaging.Metafile

名前空間: [System.Drawing](#)
アセンブリ: System.Drawing (System.Drawing.dll 内)

構文





C# C++ F# VB

```
' 宣言
<SerializableAttribute> _
<ComVisibleAttribute(True)> _
<TypeConverterAttribute(GetType(ImageConverter))> _
Public MustInherit Class Image _
    Inherits MarshalByRefObject _
    Implements ISerializable, ICloneable, IDisposable
```

コピー

Image 型で公開されるメンバーは以下のとおりです。

プロパティ

	名前	説明
	Flags	この Image のピクセル データに対する属性フラグを取得します。
	FrameDimensionsList	この Image 内のフレームの大きさを表す GUID の配列を取得します。
	Height	この Image の高さ (ピクセル単位) を取得します。
	HorizontalResolution	この Image の水平方向の解像度 (1 インチあたりのピクセル数) を取得します。
	Palette	この Image に使用するカラー パレットを取得または設定します。

	PhysicalDimension	このイメージの幅と高さを取得します。
	PixelFormat	この Image のピクセル形式を取得します。
	PropertyIdList	この Image に格納されたプロパティ項目の ID を取得します。
	PropertyItems	この Image に格納されたすべてのプロパティ項目 (メタデータの一部) を取得します。
	RawFormat	この Image のファイル形式を取得します。
	Size	このイメージの幅と高さ (ピクセル単位) を取得します。
	Tag	イメージに関する追加データを提供するオブジェクトを取得または設定します。
	VerticalResolution	この Image の垂直方向の解像度 (1 インチあたりのピクセル数) を取得します。
	Width	この Image の幅 (ピクセル単位) を取得します。

[このページのトップへ](#)

メソッド

	名前	説明
	Clone	この Image の同一コピーを作成します。
	CreateObjRef	リモート オブジェクトとの通信に使用するプロキシの生成に必要な情報をすべて格納しているオブジェクトを作成します。 (MarshalByRefObject から継承されます。)
	Dispose	この Image によって使用されているすべてのリソースを解放します。
	Dispose(Boolean)	Image によって使用されているアンマネージ リソースを解放し、オプションでマネージ リソースも解放します。


	Equals(Object)	指定した Object が、現在の Object と等しいかどうかを判断します。 (Object から継承されます。)
	Finalize	オブジェクトがガベジ コレクションにより収集される前に、そのオブジェクトがリソースを解放し、その他のクリーンアップ操作を実行できるようにします。 (Object.Finalize をオーバーライドします。)
	FromFile(String)	指定したファイルから Image を作成します。
	FromFile(String, Boolean)	そのファイルの埋め込み色管理情報を使用して、指定したファイルから Image を作成します。
	FromHbitmap(IntPtr)	GDI ビットマップを識別するハンドルから Bitmap を作成します。
	FromHbitmap(IntPtr, IntPtr)	GDI ビットマップを識別するハンドルと GDI パレットを識別するハンドルから Bitmap を作成します。
	FromStream(Stream)	指定したデータ ストリームから Image を作成します。
	FromStream(Stream, Boolean)	指定したデータ ストリームの埋め込み色管理情報をオプションでを使用して、そのストリームから Image を作成します。
	FromStream(Stream, Boolean, Boolean)	オプションで埋め込み色管理情報の使用とイメージ データの検証を行い、指定したデータ ストリームから Image を作成します。
	GetBounds	指定した単位でイメージの境界を取得します。
	GetEncoderParameterList	指定したイメージ エンコーダーでサポートされるパラメーターについての情報を返します。
	GetFrameCount	指定したディメンションのフレームの数を返します。

	GetHashCode	特定の型のハッシュ関数として機能します。(Object から継承されます。)
	GetLifetimeService	対象のインスタンスの有効期間ポリシーを制御する、現在の有効期間サービス オブジェクトを取得します。(MarshalByRefObject から継承されます。)
	GetPixelFormatSize	指定したピクセル形式の色深度 (1 ピクセルあたりのビットの数) を返します。
	GetPropertyItem	この Image の指定したプロパティ項目を取得します。
	GetThumbnailImage	この Image のサムネイルを返します。
	GetType	現在のインスタンスの Type を取得します。(Object から継承されます。)
	InitializeLifetimeService	対象のインスタンスの有効期間ポリシーを制御する、有効期間サービス オブジェクトを取得します。(MarshalByRefObject から継承されます。)
	IsAlphaPixelFormat	この Image のピクセル形式に、アルファ情報が含まれているかどうかを示す値を返します。
	IsCanonicalPixelFormat	1 ピクセルあたり 32 ビットのピクセル形式であるかどうかを示す値を返します。
	IsExtendedPixelFormat	1 ピクセルあたり 64 ビットのピクセル形式であるかどうかを示す値を返します。
	MemberwiseClone	現在の Object の簡易コピーを作成します。(Object から継承されます。)
	MemberwiseClone(Boolean)	現在の MarshalByRefObject オブジェクトの簡易コピーを作成します。(MarshalByRefObject から継承されます。)
	RemovePropertyItem	指定したプロパティ項目をこ

		の Image から削除します。
	RotateFlip	Image の回転、反転、または回転と反転の両方を行います。
	Save(String)	この Image を指定したファイルまたはストリームに保存します。
	Save(Stream, ImageFormat)	このイメージを、指定した形式で指定したストリームに保存します。
	Save(String, ImageFormat)	この Image を、指定した形式で指定したファイルに保存します。
	Save(Stream, ImageCodecInfo, EncoderParameters)	指定したエンコーダー パラメーターおよびイメージ エンコーダー パラメーターを使用して、このイメージを指定したストリームに保存します。
	Save(String, ImageCodecInfo, EncoderParameters)	指定したエンコーダー パラメーターおよびイメージ エンコーダー パラメーターを使用して、指定したファイルにこの Image を保存します。
	SaveAdd(EncoderParameters)	前の Save メソッドの呼び出しで指定されたファイルまたはストリームにフレームを追加します。 このメソッドは、多重フレーム イメージから選択したフレームを別の多重フレーム イメージに保存する場合に使用します。
	SaveAdd(Image, EncoderParameters)	前の Save メソッドの呼び出しで指定されたファイルまたはストリームにフレームを追加します。
	SelectActiveFrame	ディメンションおよびインデックスで指定されたフレームを選択します。
	SetPropertyItem	この Image に、プロパティ項目 (メタデータの一部) を格納します。
	ToString	現在のオブジェクトを表す文字列を返します。 (Object から継承されます。)

[このページのトップへ](#)

▲ 明示的なインターフェイスの実装

	名前	説明
	ISerializable.GetObjectData	SerializationInfo に、オブジェクトをシリアル化するために必要なデータを設定します。

[このページのトップへ](#)

▲ 解説

Windows フォームで **Image** を描画するには、DrawImage メソッドのいずれかを使用する必要があります。

▲ 例

次のコード例は、Windows フォームでの使用を意図してデザインされています。これは Paint イベントのハンドラーです。Graphics オブジェクトはイベントに渡され、フォーム上のイメージを描画するために使用されます。コードは、次のアクションを実行します。

- SampImag.jpg という名前のファイルからイメージを作成します。このファイルは、アプリケーションの実行可能ファイルと同じフォルダーに配置する必要があります。
- イメージの左上隅を描画する点を作成します。
- スケーリングされないイメージをフォームに描画します。

C#C++VB

コピー

```
Private Sub ImageExampleForm_Paint _
    (ByVal sender As System.Object, _
    ByVal e As System.Windows.Forms.PaintEventArgs) _
    Handles MyBase.Paint

    ' Create image.
    Dim newImage As Image = Image.FromFile("SampImag.jpg")

    ' Create Point for upper-left corner of image.
    Dim ulCorner As New Point(100, 100)

    ' Draw image to screen.
    e.Graphics.DrawImage(newImage, ulCorner)
End Sub
```

▲ バージョン情報

.NET Framework

サポート対象 : 4.5、4、3.5、3.0、2.0、1.1、1.0

.NET Framework Client Profile

サポート対象 : 4、3.5 SP1

▲ **プラットフォーム**

Windows 8, Windows Server 2012, Windows 7, Windows Vista SP2, Windows Server 2008 (サーバー コア ロールはサポート対象外), Windows Server 2008 R2 (SP1 以降でサーバー コア ロールをサポート。Itanium はサポート対象外)

.NET Framework では、各プラットフォームのすべてのバージョンはサポートしていません。サポートされているバージョンについては、「[.NET Framework システム要件](#)」を参照してください。

▲ **スレッド セーフ**

この型のすべてのパブリック **static** (Visual Basic では **Shared**) メンバーは、スレッド セーフです。インスタンス メンバーの場合は、スレッド セーフであるとは限りません。

▲ **参照**

リファレンス

[System.Drawing 名前空間](#)

その他のリソース

[イメージ、ビットマップ、およびメタファイル](#)

[イメージ、ビットマップ、アイコン、およびメタファイルの操作](#)

この情報は役に立ちましたか。 はい いいえ

コミュニティ コンテンツ [追加](#)

 [FAQ](#)